

地域における生物多様性保全活動の実態

1. 概要

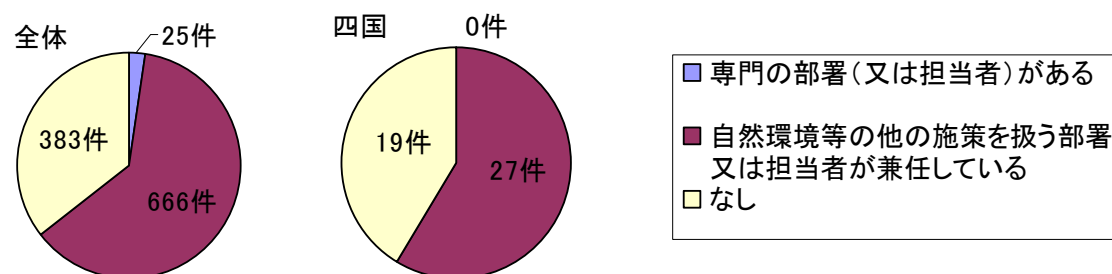
地域連携保全活動基本方針の検討に当たっての基礎資料とするため、地域における生物多様性保全活動の実態について、地方公共団体に対するアンケート等により把握した。また、アンケート等によって収集した地域における生物多様性保全活動のうち、地方公共団体が積極的に関わるとともに、同基本方針の検討に当たって特に参考となるようなものについて整理した。

2. 生物多様性保全にあたっての地方公共団体の体制・施策

全国の地方公共団体(47都道府県、1750市区町村)にアンケート調査を実施した結果、1081通(うち四国地方は47件)の回答を得た。その結果概要を以下に示す。

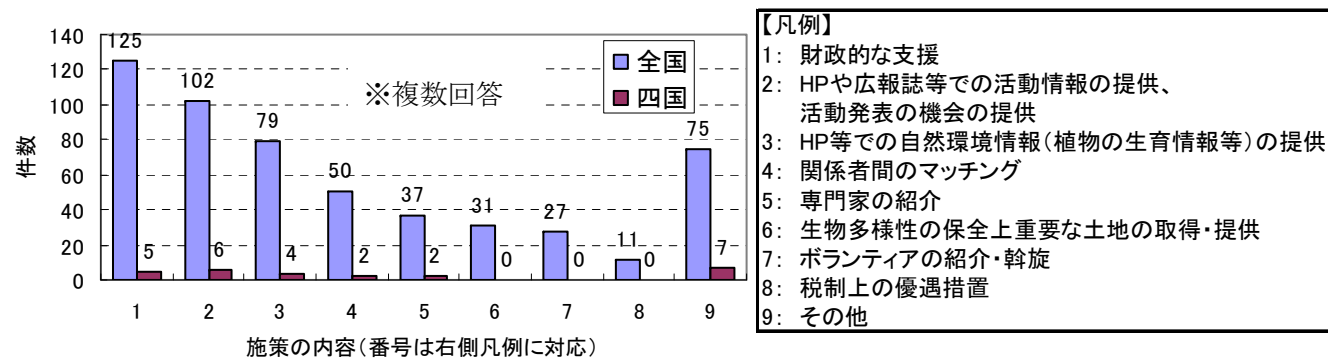
※現在集計結果を精査中であり、最終的な値は変更となる可能性がある。

1) 生物多様性を扱う部署・担当者 ※有効回答数 1074 件(うち四国地方 46 件)



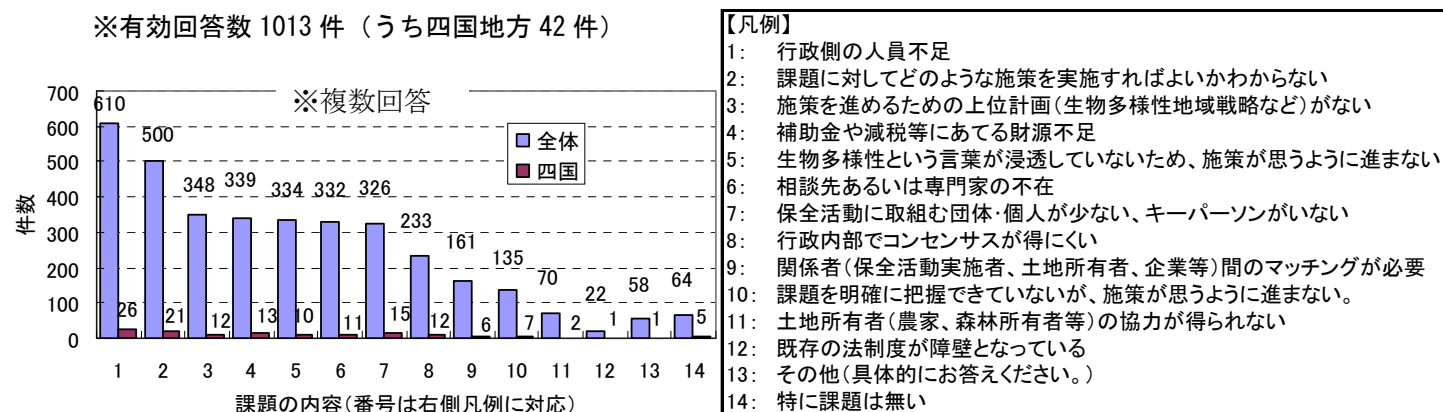
2) 地域における生物多様性保全活動を支援する施策

※施策が「有」と回答した地方公共団体 213 件(うち四国地方 10 件)



3) 生物多様性保全の施策を促進するにあたって感じている課題

※有効回答数 1013 件(うち四国地方 42 件)



3. 地域における生物多様性保全活動の事例

1) せんの森プロジェクト(愛媛県内子町)

・・・森を中心とした地域づくり

■取組内容

小田深山において、行政、市民団体、地域住民等が連携して、森林の現状把握・分析、森づくりができる人材育成、人工林の間伐及び広葉樹の植栽、ブナ林再生に向けての研究・実験、自然マップの作成、歴史や文化等の調査、自然体験プログラムの充実・実践、活動拠点の整備、利用や保全のルール作り等を通して、美しい山並・町並・村並を有するエコロジータウンうちこの形成を図っている。



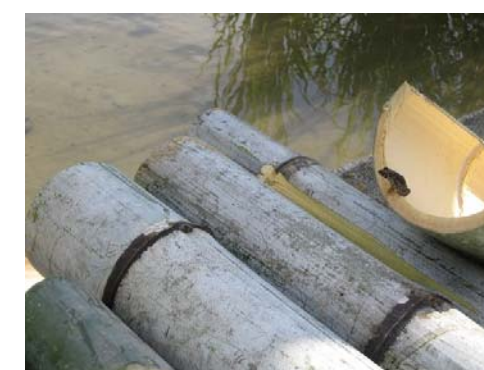
せんの森プロジェクトの「せん」とは・・・
(出典：内子町山並保全・活用計画書)

2) 生物多様性農業の推進(徳島県小松島市)

・・・有機農産物の産地づくり

■取組内容

小松島市、JA、農業者代表、NPO法人とくしま有機農業サポートセンター、関連企業などにより構成される「小松島市生物多様性農業推進協議会」では、有機農業等の推進や有機農産物の市場拡大の展開、田んぼの生きもの調査の取組など生物多様性に配慮した農業を推進するとともに、関連する地元産業の推進、地域の環境保全を図っている。



カエルスロープの設置
(提供：小松島市生物多様性農業推進協議会)

3) 三嶺の森の保全(高知県香美市)

・・・原生的な自然の保全、多様な市民団体の連携

■取組内容

原生的な森林への急速なシカ被害の深刻化に危機意識をもったNGO、NPO団体が集結して2007年8月に「三嶺の森をまもるみんなの会」を結成した。構成団体ごとに視点は異なるものの三嶺の森をまもることを目標に、本会や行政等が協力して防護ネットの設置や、防護ネットの効果検証のためのモニタリング調査等を実施している。



植生防護柵の効果(緑の部分が柵内)
(提供：三嶺の森をまもるみんなの会)